

---

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO **iDWR**

東京都感染症情報センター

---

# 東京都感染症週報

2007年第20週  
(5月14日～5月20日)

\* 2007年5月23日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>

2007年5月24日発行

編集・発行

東京都医師会感染症予防検討委員会  
東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

---

## 全数把握対象疾患 患者報告数 2007年20週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		17週	18週	19週	20週	年累計	20週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ベスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	54	30	54	50	348	229	1860
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *							
三類	コレラ				1	1		5
	細菌性赤痢			4	1	28	2	182
	腸管出血性大腸菌感染症	3	2	3	3	17	39	353
	腸チフス	1				2	1	14
	パラチフス	1				3		7
四類	E型肝炎					1	1	19
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎				2	12	1	68
	エキノкокクス症			1		2		5
	黄熱							
	オウム病					1	1	9
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							3
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					1		2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					2	4	57
	デング熱					1		21
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ #							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						1	1
	日本脳炎							1
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							2
	マラリア	1				8	1	16
野兔病								
ライム病								
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症		1	2		9	4	144	
レプトスピラ症	1				2		3	
ロッキー山紅斑熱								

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		17週	18週	19週	20週	年累計	20週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	3		4	1	53	8	273
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	1				14	1	61
	急性脳炎 **			2	1	5	1	81
	クリプトスポリジウム症							2
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1		2		6	1	60
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1	3	2	43
	後天性免疫不全症候群	7	5	10	8	172	11	471
	ジアルジア症	1			1	7		18
	髄膜炎菌性髄膜炎						1	9
	先天性風しん症候群							
	梅毒	4	1	5	3	44	4	188
	破傷風						1	27
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
バンコマイシン耐性腸球菌感染症					7		29	
指定	インフルエンザ (H5N1)							
2007/5/23集計								

\* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*\* ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

# 2007年14週集計分より「高病原性鳥インフルエンザ」から「鳥インフルエンザ」に変更

### (全数把握対象疾患のコメント)

#### 〈二類感染症〉

##### 結核 50件

肺結核44件、その他6件で、推定感染地は国内45件、国外5件(中国2件、不明3件)であった。年齢群は、10歳代1件、20歳代6件、30歳代7件、40歳代5件、50歳代4件、60歳代5件、70歳代14件、80歳代7件、90歳代1件であった。

#### 〈三類感染症〉

##### コレラ 1件

O1稲葉型で生物型は不明、推定感染地はインドであった。

##### 細菌性赤痢 1件

菌種はソクネ菌で、推定感染地はガーナ・アンゴラ・南アフリカであった。

##### 腸管出血性大腸菌感染症 3件

患者2件、無症状病原体保有者1件。血清型・毒素型はO103VT1が2件、O157 VT1・VT2が1件であった。年齢群は10歳未満2件、30歳代1件であった。10歳未満の2件は、同一施設でほぼ同時期に発症していた。

#### 〈四類感染症〉

##### A型肝炎 2件

感染原因として、いずれも貝類が疑われている。

#### 〈五類感染症〉

##### アメーバ赤痢 1件

腸管アメーバ症1件であった。推定感染地は国内で、推定感染経路は性的接触(異性間)であった。

##### 急性脳炎 1件

10歳代で、病原体は単純ヘルペスウイルスであった。

##### 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件

血清群はA群で、60歳代であった。

##### 後天性免疫不全症候群 8件

無症候キャリア7件、AIDS1件で、推定感染地はいずれも国内、推定感染経路はいずれも性的接触(同性間5件、異性間3件)であった。

##### ジアルジア症 1件

推定感染地はインドで、飲食物による経口感染が疑われている。

##### 梅毒 3件

早期顕症梅毒 I 期2件、無症候梅毒1件で、推定感染経路はいずれも性的接触(異性間2件、同性間1件)であった。

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数 2007年20週

疾病名	2007年				4週合計	年累計
	17週	18週	19週	20週		
RSウイルス感染症	6	8	7	4	25	467
インフルエンザ	451	183	92	34	760	43,702
咽頭結膜熱	65	40	110	93	308	825
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	342	196	300	382	1,220	4,909
感染性胃腸炎	794	441	767	747	2,749	15,664
水痘	228	155	403	270	1,056	4,375
手足口病	17	14	30	23	84	261
伝染性紅斑	82	61	71	77	291	1,444
突発性発しん	123	45	108	106	382	1,510
百日咳	0	0	1	2	3	24
風しん	1	1	4	2	8	17
ヘルパンギーナ	12	20	28	29	89	139
麻しん(成人麻しんを除く)	11	14	31	35	91	145
流行性耳下腺炎	31	24	59	45	159	718
不明発しん症	15	11	21	18	65	189
MCLS	1	2	3	6	12	42
急性出血性結膜炎	2	1	1	1	5	11
流行性角結膜炎	28	8	26	24	86	313
細菌性髄膜炎	0	2	1	0	3	8
無菌性髄膜炎	1	0	1	0	2	10
マイコプラズマ肺炎	3	2	5	6	16	53
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	2
成人麻しん	15	18	19	21	73	116
2007/5/23集計						

### (定点把握対象疾患のコメント)

- ・麻しんおよび成人麻しんの定点当たり報告数は、いずれも過去5年平均よりもかなり高いレベルで推移している。1999年以降で最も流行した2001年と比較して、麻しんはそれに迫る状況であり、成人麻しんは2001年のピークを3週連続して超えている。
- ・百日咳の定点当たり報告数は2週連続で増加し、再び過去5年平均よりも高いレベルになっている。
- ・風しんの定点当たり報告数は減少し、昨年同時期と同じレベルになっている。
- ・マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年平均よりも高い値であるが、今年の全国のレベルよりは低く推移している。

### (定点医療機関からのコメント)

#### 大田区保健所管内定点医療機関

- ・インフルエンザ；B型1名

#### 世田谷区保健所管内定点医療機関

- ・麻しん；2名。同じ学校の生徒です。

#### 北区保健所管内定点医療機関

- ・麻しん；大学生。IgM抗体陽性です。

#### 多摩立川保健所定点医療機関

- ・不明発しん症；17歳。麻しんの予防接種済、コプリック斑なし。

#### 多摩府中保健所管内医療機関

- ・麻しん；12歳女、予防接種歴あり、カタル症状に欠ける。37.2度の発熱と発疹で発症。

#### 多摩小平保健所管内定点医療機関

- ・インフルエンザ；B型1名
- ・インフルエンザ；A型5名、B型1名
- ・インフルエンザ；A型1名

#### 八王子市保健所管内定点医療機関

- ・インフルエンザ；B型2名
- ・4歳児、アデノウイルス感染症と溶血性レンサ球菌感染症を合併
- ・アデノウイルス感染症1名

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【年齢階級別】 2007年20週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～5か月		1			11	4			2
～11か月			5	4	52	17	1	1	52
1歳		1	15	6	106	50	6	4	47
2歳		1	9	9	81	37	2	4	4
3歳		1	9	35	88	53	4	8	
4歳		1	14	60	64	34	3	10	1
5歳		6	14	45	56	29	2	13	
6歳		2	8	63	58	19	1	15	
7歳		1	11	47	38	4		5	
8歳		1	3	33	18	8		4	
9歳		1	2	19	24	4	1	7	
10～14歳		2	3	31	59	6	1	5	
15～19歳		2		2	9				
20～29歳	4	4		28	83	5	2	1	
30～39歳		7							
40～49歳		1							
50～59歳		1							
60～69歳		1							
70～79歳									
80歳以上									
合計	4	34	93	382	747	270	23	77	106
先週比	-3	-58	-17	82	-20	-133	-7	6	-2

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～5か月	1			1				1	
～11か月			1	7				8	
1歳			6	6	1		1	3	3
2歳			4	2	4		1	1	1
3歳			5	1	8			1	2
4歳			2	1	4		3		
5歳			2	1	9			1	
6歳			1	1	4		2		
7歳				1	4				
8歳			2		3				
9歳		1			4		1		
10～14歳			1	7	1				
15～19歳				2				1	
20～29歳	1	1	5	5	3		5	2	
30～39歳						1	6		
40～49歳							3		
50～59歳							2		
60～69歳									
70～79歳									
80歳以上									
合計	2	2	29	35	45	1	24	18	6
先週比	1	-2	1	4	-14	0	-2	-3	3

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2007年20週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田						3			3	
中央区				1		4			3	
みなと	4		4	17	29	14	1	4	4	
新宿区			5	13	34	4	1		1	1
文京		1			6	6				
台東			1	6	15	14		2	3	
墨田区			2	5	4	3			2	
江東区		2		16	48	11	1	1	8	
品川区				9	31	7		5	6	
目黒区				1	2	2			1	
大田区		2	20	42	46	21	1	6	6	
世田谷		4		20	54	17	3	4	1	
渋谷区			2	6	10	2		2	1	
中野区			1	13	34	14	1	1	6	
杉並			8	26	56	9	1	3	4	
池袋				6	10	4		1	1	
北区				2	9	10	1	1	5	
荒川区			10	3	29	7		1	1	
板橋区				4	15			2	2	
練馬区			3	19	7	9	2	5	3	
足立			1	8	30	3	4		4	
葛飾区		2	1	10	19	15	2	3	2	
江戸川		1	27	23	25	10		5	7	
西多摩			1	10	24	17		4	4	
八王子		2	3	55	75	23	1	3	6	
南多摩				15	9	11	1		9	
町田		7		23	39	14	1	6	6	
多摩立川		1			6	1	1	4		
多摩府中		4		10	30	8		5	5	1
多摩小平		8	4	19	47	7	1	9	2	
島しょ					4					

東京都合計	4	34	93	382	747	270	23	77	106	2
定点当り報告数	0.03	0.12	0.63	2.58	5.05	1.82	0.16	0.52	0.72	0.01

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻し んを除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS	合計
千代田									6
中央区		4	1	1		2			16
みなと							3		80
新宿区	1	2	2			2			66
文京				1		1			15
台東									41
墨田区				1					17
江東区		2		1		1			91
品川区						2	1		61
目黒区				1		3			10
大田区			4	8			3		159
世田谷			4	2			1		110
渋谷区			1	1		1			26
中野区				1	1				72
杉並			1			1			109
池袋		8	3	1			1		35
北区		1	2	1					32
荒川区				1				2	54
板橋区	1			1					25
練馬区			1	1		1	1		52
足立			3					1	54
葛飾区			1	4		1	1		61
江戸川		4	3	3					108
西多摩		1		1		2			64
八王子		1	5	5			4	2	185
南多摩		2	1	1				1	50
町田		2		3			2		103
多摩立川				1			1		15
多摩府中		1	3	4		1			72
多摩小平		1		1		6			105
島しょ									4

東京都合計	2	29	35	45	1	24	18	6	1,898
定点当り報告数	0.01	0.20	0.24	0.30	0.03	0.62	0.12	0.04	

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2007年20週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田						0.75			0.75	
中央区				0.50		2.00			1.50	
みなと	0.67		0.67	2.83	4.83	2.33	0.17	0.67	0.67	
新宿区			0.83	2.17	5.67	0.67	0.17		0.17	0.17
文京		0.20			2.00	2.00				
台東			0.33	2.00	5.00	4.67		0.67	1.00	
墨田区			0.67	1.67	1.33	1.00			0.67	
江東区		0.22		4.00	12.00	2.75	0.25	0.25	2.00	
品川区				1.50	5.17	1.17		0.83	1.00	
目黒区				0.33	0.67	0.67			0.33	
大田区		0.13	2.22	4.67	5.11	2.33	0.11	0.67	0.67	
世田谷		0.25		2.50	6.75	2.13	0.38	0.50	0.13	
渋谷区			0.50	1.50	2.50	0.50		0.50	0.25	
中野区			0.17	2.17	5.67	2.33	0.17	0.17	1.00	
杉並			1.33	4.33	9.33	1.50	0.17	0.50	0.67	
池袋				1.20	2.00	0.80		0.20	0.20	
北区				0.50	2.25	2.50	0.25	0.25	1.25	
荒川区			5.00	1.50	14.50	3.50		0.50	0.50	
板橋区				0.67	2.50			0.33	0.33	
練馬区			0.60	3.80	1.40	1.80	0.40	1.00	0.60	
足立			0.20	1.60	6.00	0.60	0.80		0.80	
葛飾区		0.22	0.25	2.50	4.75	3.75	0.50	0.75	0.50	
江戸川		0.08	5.40	4.60	5.00	2.00		1.00	1.40	
西多摩			0.20	2.00	4.80	3.40		0.80	0.80	
八王子		0.20	0.75	13.75	18.75	5.75	0.25	0.75	1.50	
南多摩				3.75	2.25	2.75	0.25		2.25	
町田		0.78		5.75	9.75	3.50	0.25	1.50	1.50	
多摩立川		0.08			1.20	0.20	0.20	0.80		
多摩府中		0.19		1.00	3.00	0.80		0.50	0.50	0.10
多摩小平		0.57	0.67	3.17	7.83	1.17	0.17	1.50	0.33	
島しょ					4.00					

東京都合計	4	34	93	382	747	270	23	77	106	2
定点当り報告数	0.03	0.12	0.63	2.58	5.05	1.82	0.16	0.52	0.72	0.01

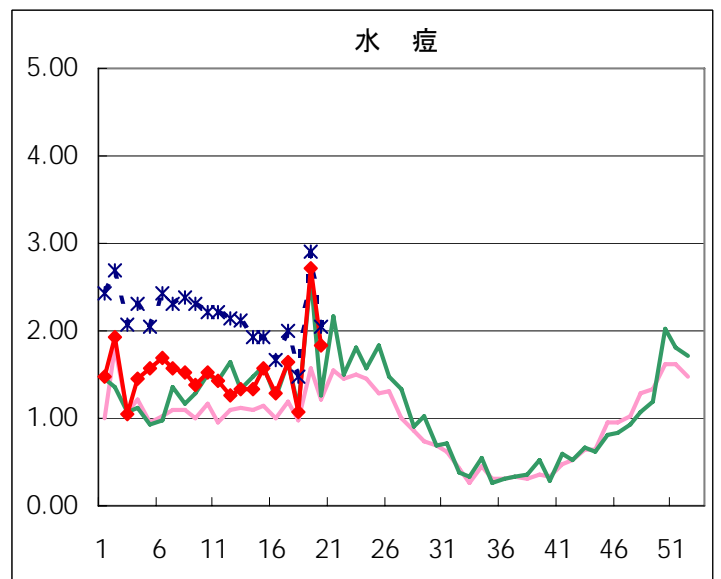
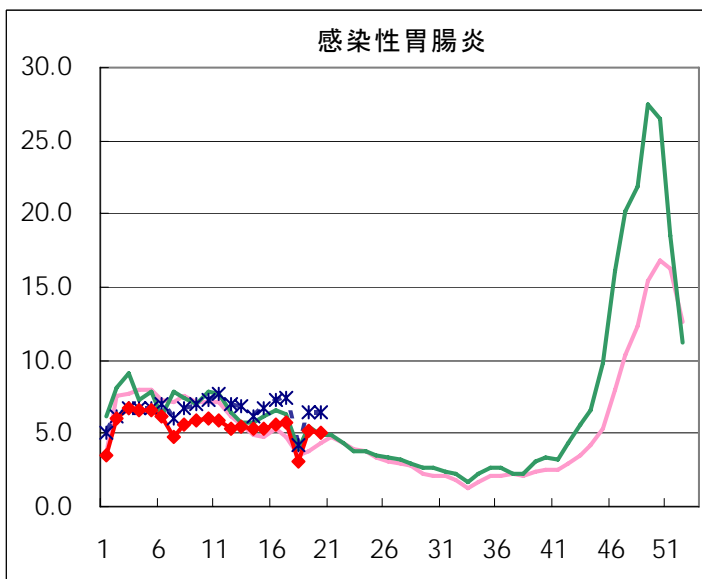
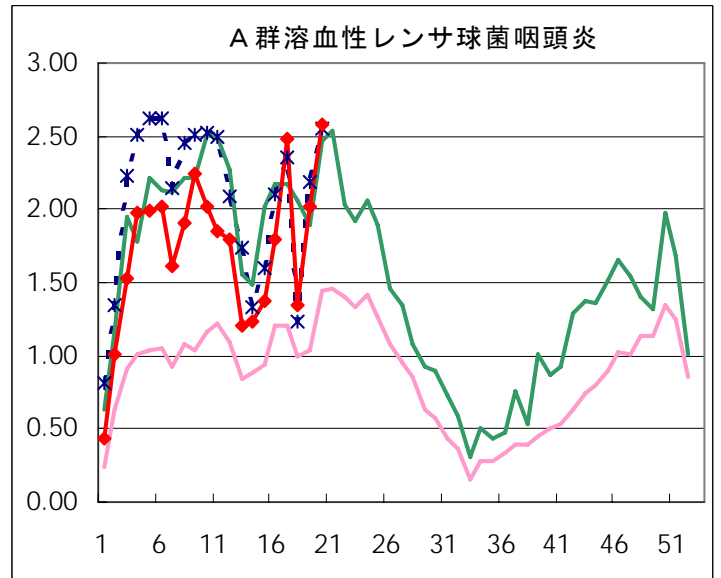
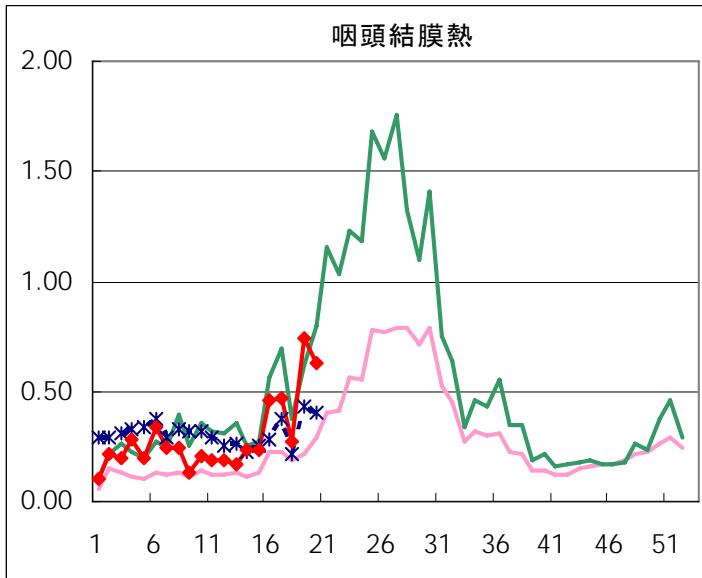
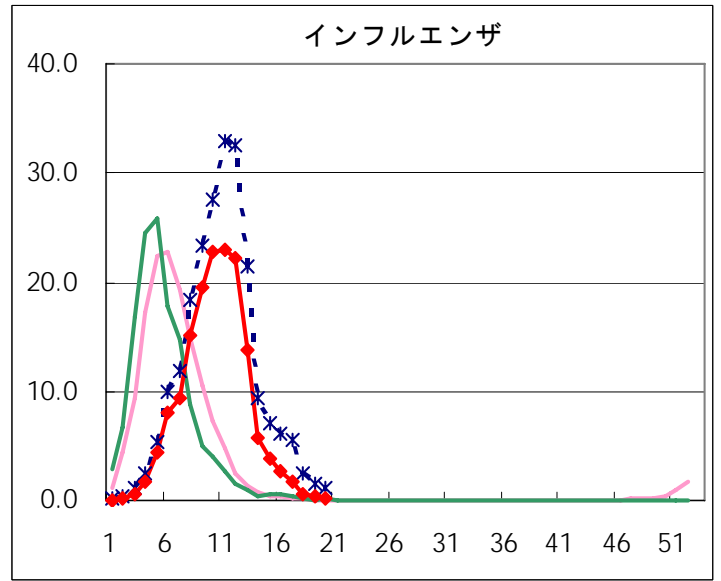
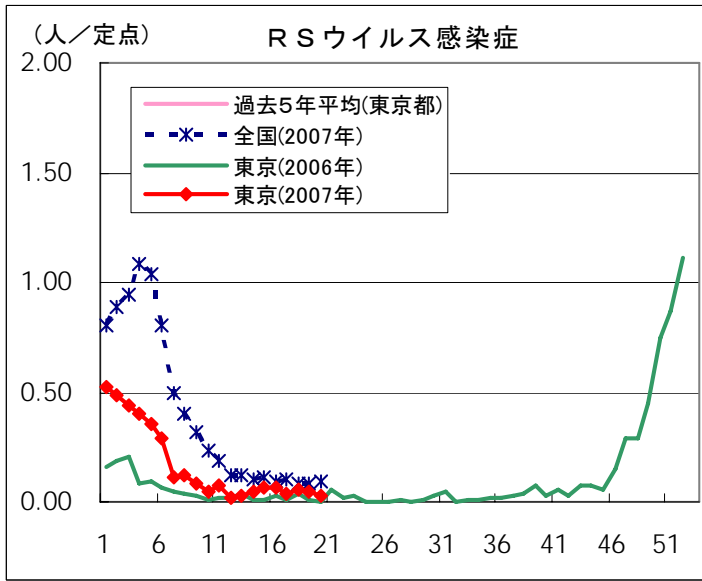


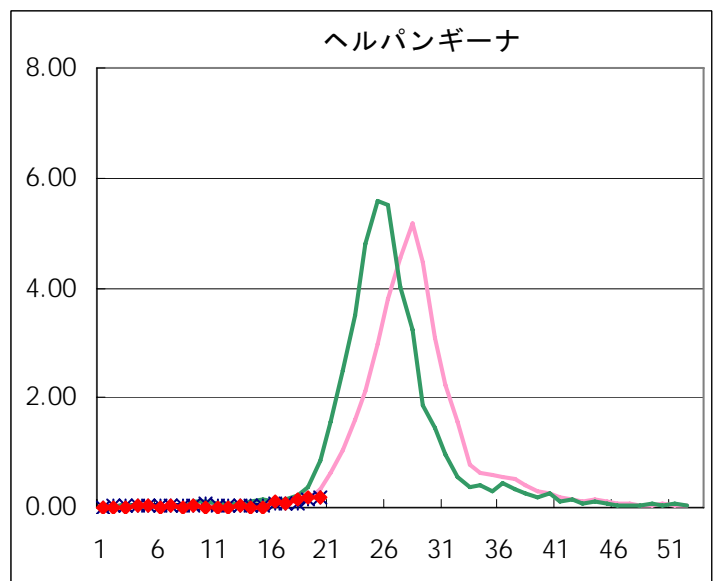
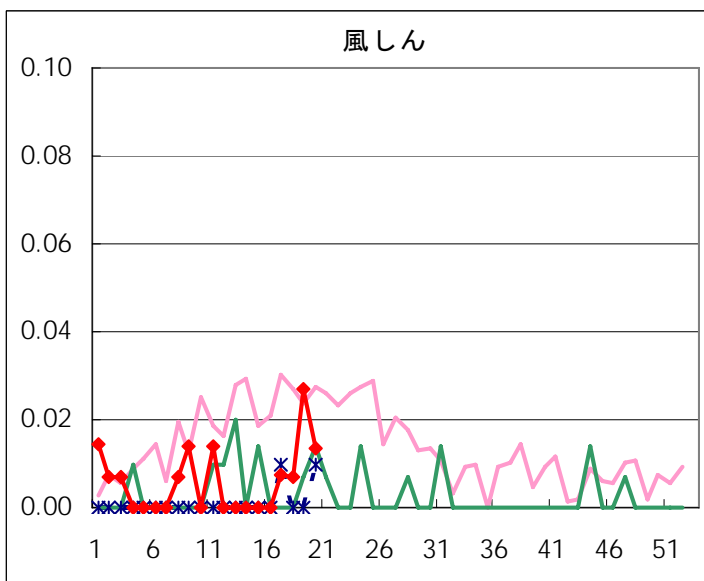
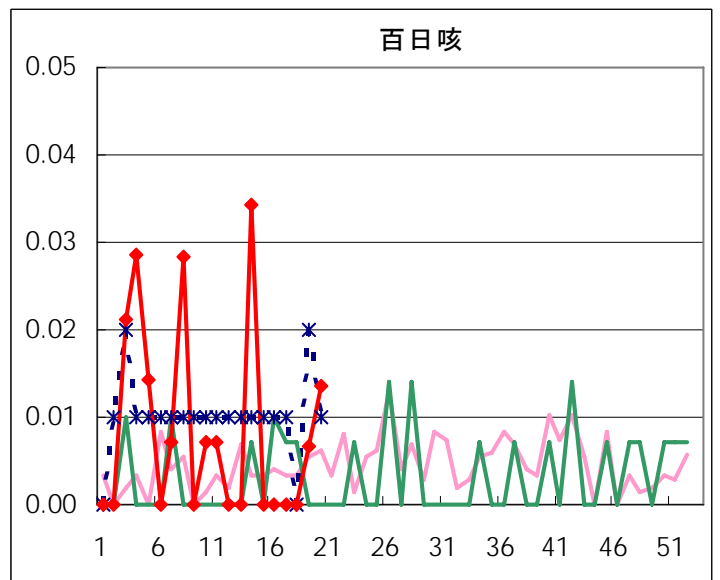
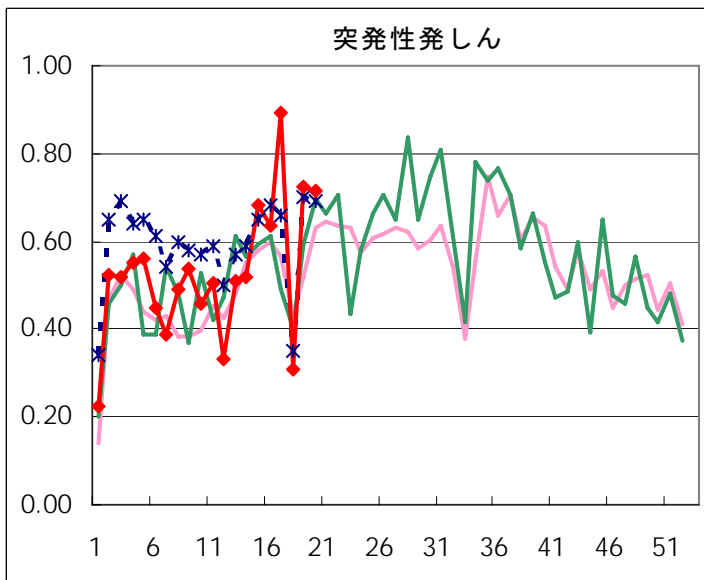
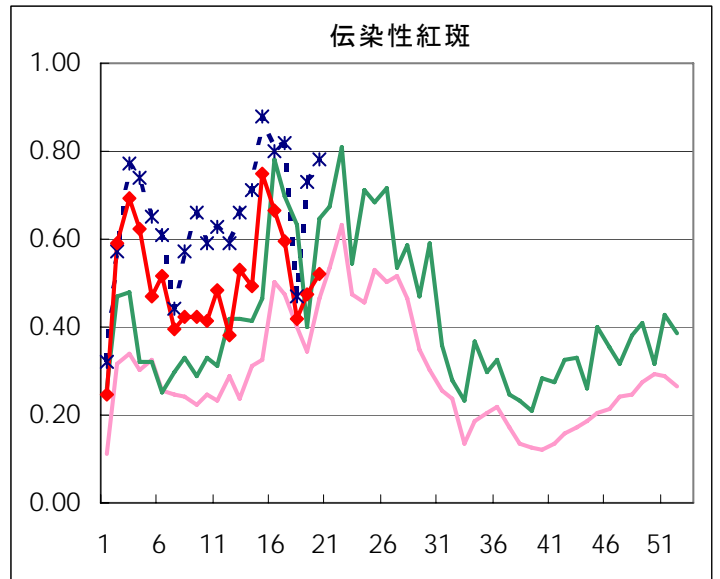
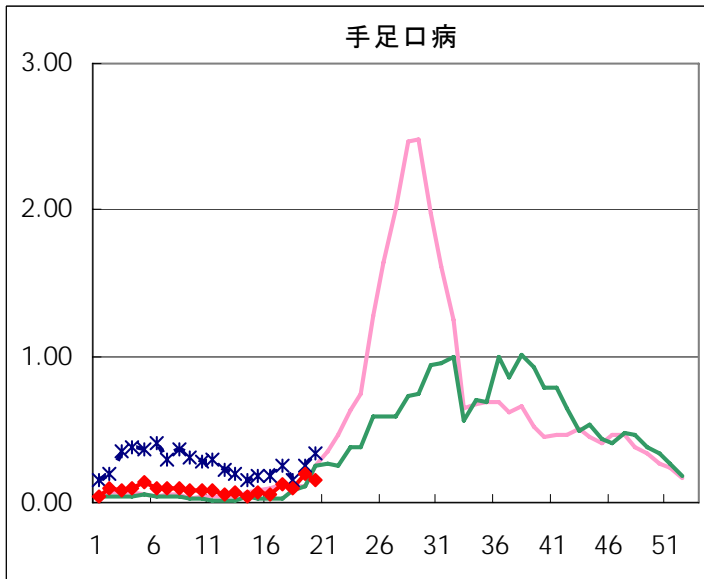
	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
千代田								
中央区		2.00	0.50	0.50		2.00		
みなと							0.50	
新宿区	0.17	0.33	0.33			1.00		
文京				0.33		1.00		
台東								
墨田区				0.33				
江東区		0.50		0.25		1.00		
品川区						2.00	0.17	
目黒区				0.33		3.00		
大田区			0.44	0.89			0.33	
世田谷			0.50	0.25			0.13	
渋谷区			0.25	0.25		1.00		
中野区				0.17	1.00			
杉並			0.17			1.00		
池袋		1.60	0.60	0.20			0.20	
北区		0.25	0.50	0.25				
荒川区				0.50				1.00
板橋区	0.17			0.17				
練馬区			0.20	0.20		0.50	0.20	
足立			0.60					0.20
葛飾区			0.25	1.00		1.00	0.25	
江戸川		0.80	0.60	0.60				
西多摩		0.20		0.20		2.00		
八王子		0.25	1.25	1.25			1.00	0.50
南多摩		0.50	0.25	0.25				0.25
町田		0.50		0.75			0.50	
多摩立川				0.20			0.20	
多摩府中		0.10	0.30	0.40		0.33		
多摩小平		0.17		0.17		3.00		
島しょ								

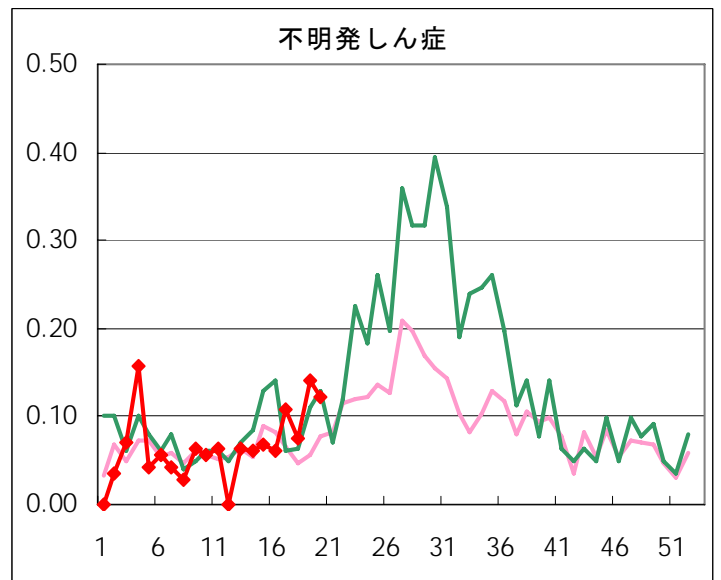
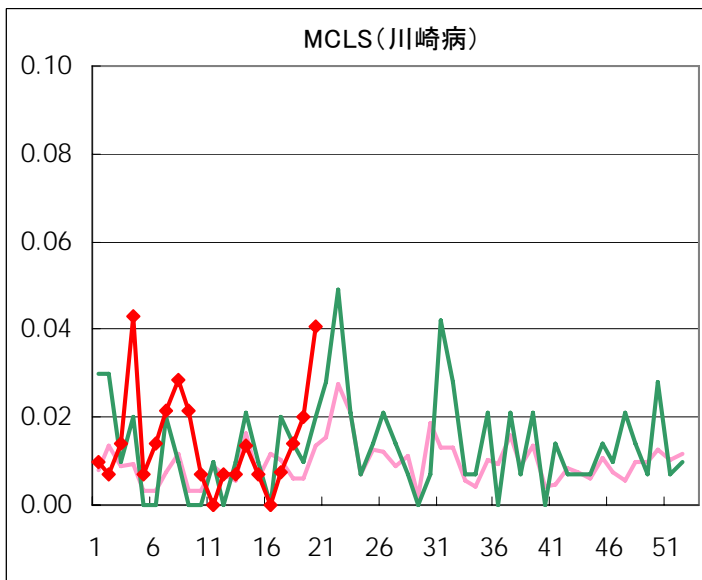
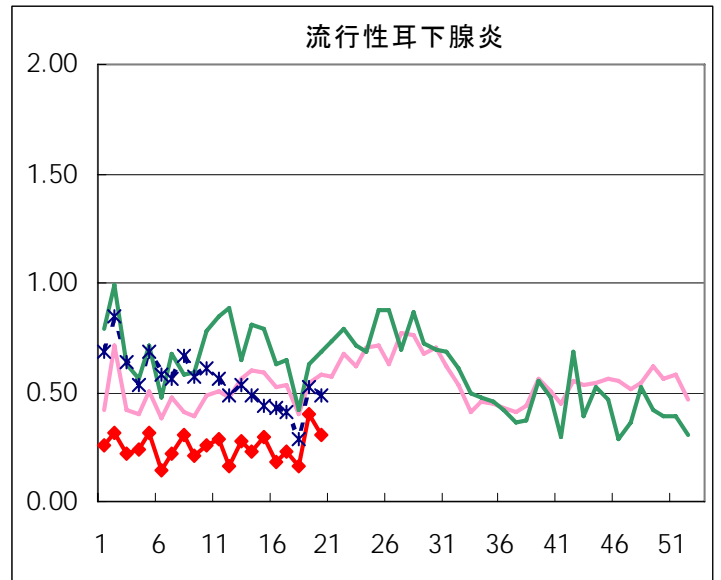
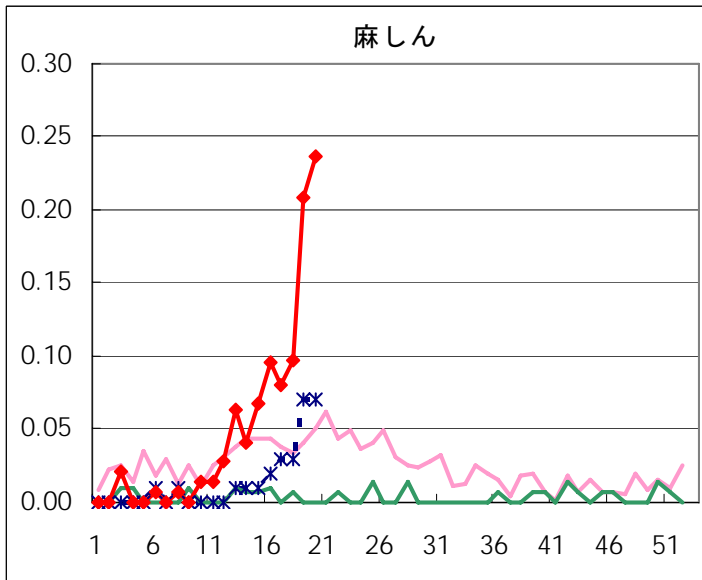
東京都合計	2	29	35	45	1	24	18	6
定点当り報告数	0.01	0.20	0.24	0.30	0.03	0.62	0.12	0.04

# 五類定点把握対象疾患 患者報告数【推移グラフ】 2007年20週現在

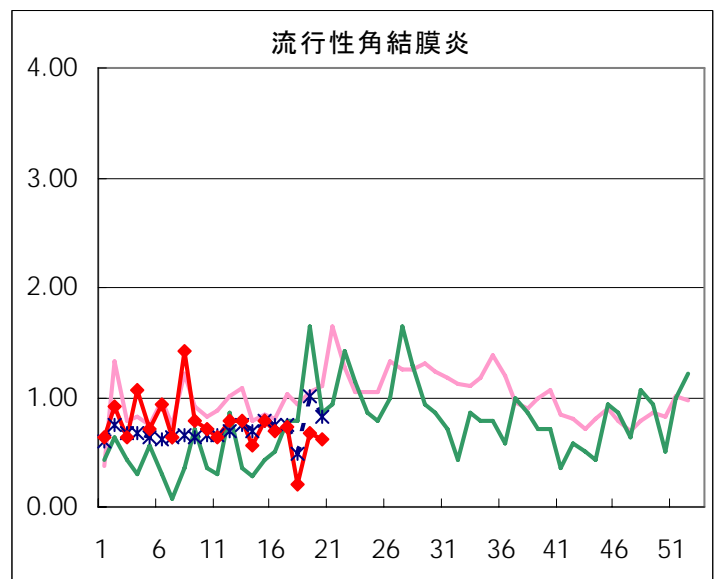
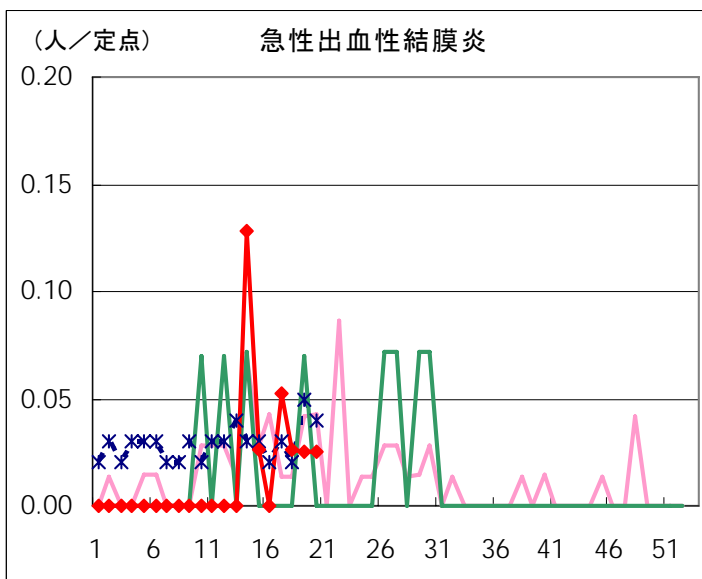
## ◆ 小児科・インフルエンザ定点



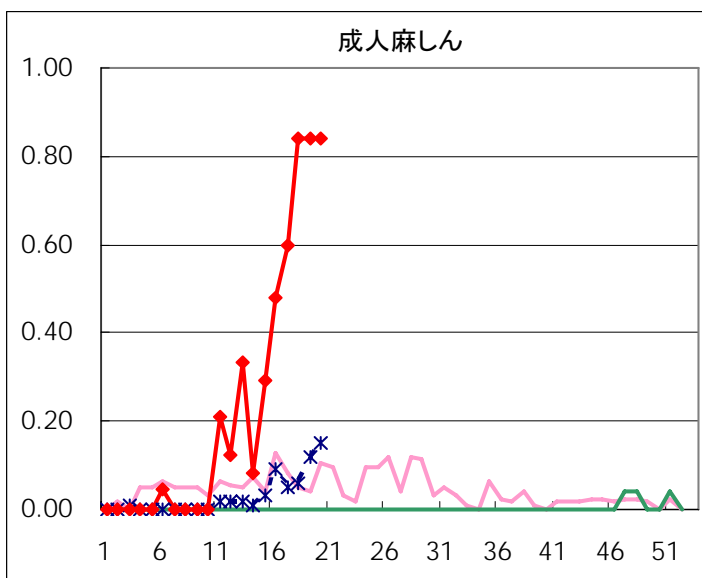
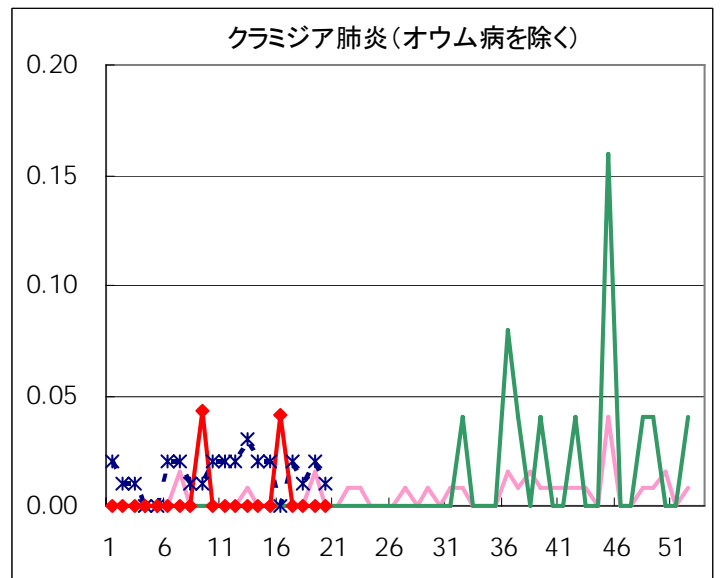
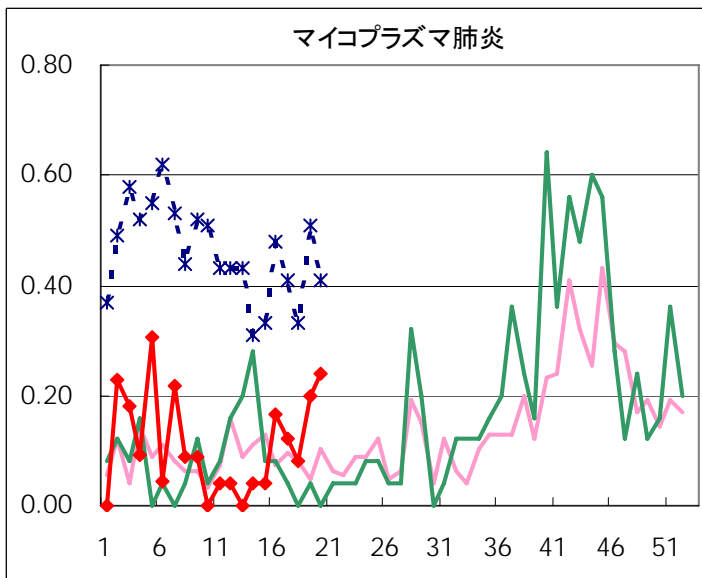
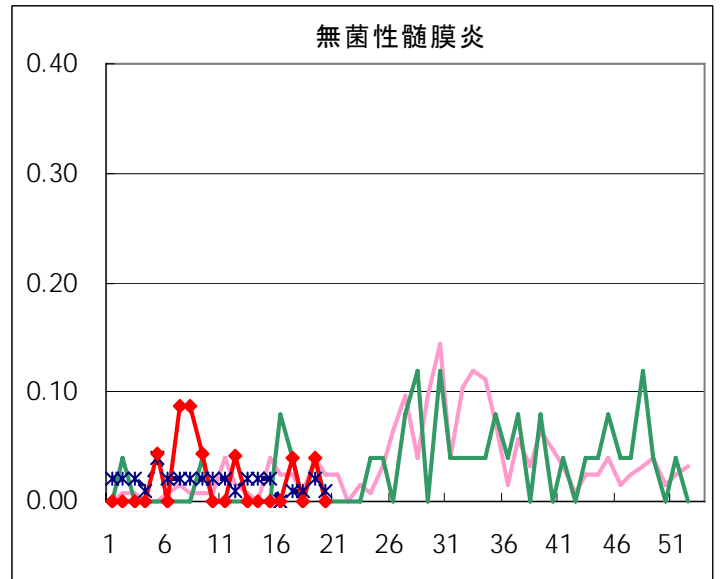
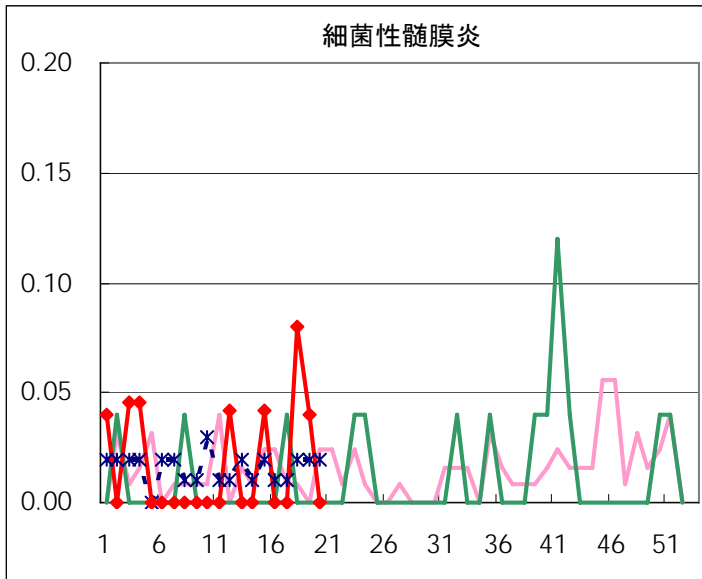




◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週単位報告分)			
定点種別	疾患	定点医療機関数	報告医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	290	283
眼科	急性出血性結膜炎	39	39
	流行性角結膜炎		
基幹	細菌性髄膜炎	25	25
	無菌性髄膜炎		
	マイコプラズマ肺炎		
	クラミジア肺炎		
	成人麻しん		
小児科	上記を除く疾病	150	148

## 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

\*検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
4/2	急性出血性結膜炎	22	結膜拭い液	アデノウイルス	遺伝子
4/27	麻疹	記載無し	咽頭拭い液	麻疹ウイルス	
4/28	麻疹	27	咽頭拭い液	麻疹ウイルス	
4/28	流行性角結膜炎	66	結膜拭い液	アデノウイルス	
5/1	急性脳症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型、 ライノウイルス、 麻疹ウイルス	
5/1	耳下腺炎	3	咽頭拭い液	ムンプスウイルス、 エンテロウイルス30型	
5/4	麻疹	45	咽頭拭い液	麻疹ウイルス	
5/4	けいれん重積	3	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
5/7	熱性けいれん	2	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型、 ライノウイルス	
5/7	急性気管支炎	2	咽頭拭い液	エンテロウイルス71型	
5/8	不明発しん症	1	うがい液	ヒトヘルペスウイルス6型	
5/8	インフルエンザ	10	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型	
5/9	突発性発しん	5M	咽頭拭い液	アデノウイルス、 ライノウイルス	
5/9	麻疹	14	咽頭拭い液	麻疹ウイルス	
5/9	リンパ節炎	14	生検材料	ヒトヘルペスウイルス6型	
5/9	インフルエンザ	35	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型	
5/10	咽頭結膜熱	8	咽頭拭い液	アデノウイルス	
5/10	急性胃腸炎	2	直腸拭い液	ノロウイルスG II	

週別検査状況 2007年12週～19週

検出病原体・抗体		検体採取週								合計
		2007年								
		12	13	14	15	16	17	18	19	
ウイルス	アデノ	5	5	3		1		2	4	20
	ライノ	1	1	3	2	1		5	3	16
	ポリオ									
	コクサッキーA群									
	コクサッキーB群									
	エコー									
	エンテロ71							1		1
	その他のエンテロ		1	1	2	2		1	2	9
	単純ヘルペス									
	水痘・帯状疱疹									
	ヘルペス6/7	2	1	5	2	3		10	5	28
	EB			1		1		4		6
	サイトメガロ					1		2		3
	ムンプス		1						1	2
	麻疹	1		1	1	1		1	5	10
	風しん									
	パルボB19				3					3
	RS		1	2						3
	ノロ	39		1					1	41
	ロタ		1			1		2		4
インフルエンザAH1		1	3	2			1		7	
インフルエンザAH3	2	14	8	6	10		2		42	
インフルエンザB	4	9	5	6	1		6	2	33	
デング										
その他のウイルス										
細菌	カンピロバクター									
	サルモネラ									
	腸管出血性大腸菌									
	その他の腸管系病原菌				1					1
	溶血性レンサ球菌					8				8
	その他の細菌					1				1
その他の病原体								1		1

臨床診断名別検査結果 2007年12週～19週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	合計
搬入検体数	111	24	12	121	26		7	8	3	2	4	22	5	4	11	1	66	
アデノ	1	6	1	1				4				1	1		1		4	20
ライノ	3	2	3	1	2							2					3	16
ポリオ																		
コクサッキーA群																		
コクサッキーB群																		
エコー																		
エンテロ71										1								1
その他のエンテロ	1	2	1	2				1	1			1						9
単純ヘルペス																		
水痘・帯状疱疹しん																		
ヘルペス6/7	1	2	1		6			1				7			1		9	28
EB		1											3			1	1	6
サイトメガロ					2												1	3
ムンプス													2					2
麻疹												1			8		1	10
風しん																		
パルボB19											3							3
RS	1	1	1															3
ノロ				41														41
ロタ				4														4
インフルエンザAH1	7																	7
インフルエンザAH3	41	1																42
インフルエンザB	31	1	1															33
デング																		
その他のウイルス																		
カンピロバクター																		
サルモネラ																		
腸管出血性大腸菌																		
その他の腸管系病原菌				1														1
溶血性レンサ球菌						7												8
その他の病原体			1														1	2
備考																		



## <感染症豆知識>

### マイコプラズマ肺炎

肺炎マイコプラズマ *Mycoplasma pneumoniae* はヒトに感染すると上気道炎、気管支炎、肺炎などを引き起こす。肺炎は感染者の約3～5%にみられ、胸部X線所見では異型肺炎像を呈することが多い。頑固な咳嗽と発熱が主で、中耳炎、胸膜炎、心筋炎、髄膜炎などを併発する場合もある。また、喘息や慢性閉塞性肺疾患に対する慢性的影響も指摘されている。細菌性肺炎は乳幼児や高齢者に多いのに対し、マイコプラズマ肺炎は学童、青年期に多い。肺炎マイコプラズマは飛沫で感染し、潜伏期は2～3週間と長い。

感染症発生動向調査では5類感染症とされ、全国約500カ所の基幹定点で病原体検出または抗体検出で診断された患者数が毎週報告されている。晩秋から早春にかけてピークが認められる。2000年以降、定点当たり患者報告数が年々増加し、2005～2006年に大きく増加している。

抗体検出は、簡便な迅速キットが市販されているが、小児の初回感染例の発病初期では陰性を示す。また、単一血清で高い抗体価を示しても過去の感染による場合がある。抗体の有意上昇、IgM抗体検出やPCRによる肺炎マイコプラズマ遺伝子検出によりクラミジア肺炎やオウム病などとの鑑別診断を行うことが必要である。治療はマイコプラズマとクラミジアの両者に有効なテトラサイクリン系やマクロライド系抗菌薬が一般に使用され、成人に対してはニューキノロン系薬剤も使用されるが、小児の場合は副作用の少ないマクロライド系薬剤が第一選択薬剤として用いられる。2000年以降、マクロライド耐性肺炎マイコプラズマが報告され、最近増加している。

(文責・国立感染症研究所感染症情報センター 山下和予)